

10年後の目指す姿

農業を憧れの職業へ

～ 必要十分な収益が得られ、働きがいのある農業経営の実現 ～

住みたい・訪れたい農村へ

～ 農村と都市のつながりを多様化することで農のある豊かなライフスタイルの実現 ～

本計画の目標

- 担い手への農地集積や基盤整備、スマート農業技術の導入により、高い生産性を実現する。
- 脱炭素化・SDGsへの対応を進め、持続可能な社会づくりに貢献する。
- 本県農産物の魅力や地域農業の多面的機能などの価値を消費者と共有し、つながりの深化を図る。
- 地域資源を保全・活用し、「環境」「社会」「経済」がバランスよく調和した『持続可能な農村』の実現を目指す。

主な指標 (括弧内は現状値)

○農業産出額	2,400億円 (1,887億円)
○持続可能な農業経営体数 [※] <small>※農業法人と販売金額1,000万円以上の販売農家</small>	4,400経営体 (4,163経営体)
○担い手への農地集積面積	30,481ha (26,512ha)
○パイ・シズオカ、パイ・ふじのくに、パイ・山の州の取組に参加した県民の割合	70% (59%)
○「ふじのくに美しく品格のある邑づくり」の参画者数	87,600人 (73,058人)

基本方向1 生産性と持続性を両立した次世代農業の実現

(1) デジタル技術等を活用した農芸品の生産性向上

- DX・先端技術の活用等による高度化・効率化**
 - 先端技術等を活用した研究開発と関連産業のビジネス展開の促進
 - スマート農業技術の導入促進



生産現場へのスマート農業技術導入

- 土地利用型農業の生産性向上**

- 担い手への農地集積面積の拡大
- 茶産地の構造改革の推進、果樹産地における生産性向上など

- 施設園芸拠点の整備と畜産経営の大規模化・安定化**

- 施設野菜・花きの生産施設整備
- 家畜防疫体制及び環境対策の強化など



生産基盤の整備

- 産地収益力を強化する基盤整備**

- 品別別基盤整備プロジェクト
- 農業水利施設の保全と管理体制の強化など

(2) 農業生産における環境負荷の軽減

- 有機農業等の推進**

- 農業者への技術支援、消費者への啓発や情報発信
- 環境負荷軽減に資する先端技術の開発など



生産から消費まで一貫した有機農業の取組推進

- 温室効果ガスの排出削減技術の導入促進**

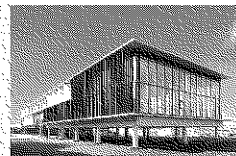
- 省エネ機器等の導入促進、排出削減に向けた栽培技術の見直し
- 炭素貯留につながる土壌管理技術の開発など

- 資源の有効活用**

- 資源循環やバイオマス活用、小水力発電施設の導入の促進

(3) 次代を担う農業経営体の育成

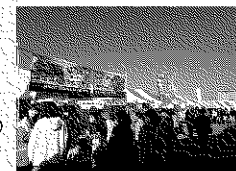
- 農業経営者の確保・育成**
 - 新規就農者の確保、ビジネス感覚を有する農業経営者の支援
 - 農林環境専門職大学における農林業経営・生産のプロフェッショナル人材の育成
- 農業現場を支える多様な人材の活躍推進**
 - 多様で幅広い人材の活用
 - 農福連携の推進



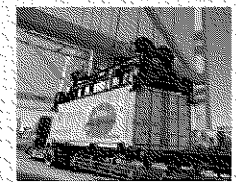
農林環境専門職大学におけるプロフェッショナル人材育成

(4) 市場と生産が結びついた「ふじのくにマーケティング戦略」の推進

- ふじのくにマーケティング戦略に基づく販路開拓**
 - 首都圏等への販路拡大と流通・供給体制の強化
 - 域内完結型サプライチェーンの構築による新たな需要喚起
 - DXによる農林水産品の供給システムの構築
- ブランド力による付加価値向上**
 - セレクション商品のブランド力向上
 - 農林漁業者の新商品開発（6次産業化）等の支援
- ニーズに対応した生産・出荷体制への転換**
 - 実需の要望に対応する認証等の取得推進
 - 競争力強化のための新品種・技術の開発
 - 茶の需要に応じた生産構造への転換と新たな商品の開発
 - 食肉センターの整備・運営など
- 輸出拡大の取組支援**
 - マーケットインによる「輸出産地」の形成
 - 県産品の輸出体制の強化など



山の州への新たな商流・物流網の構築



清水港等を拠点とした輸出

基本方向2 人々を惹きつける「都」づくりと持続可能な農村の創造

(1) 人々を惹きつける都づくり

- 「食の都」づくり**
 - 食の都づくりを牽引する人材の育成や魅力ある県産食材の情報発信
 - 地産地消「パイ・シズオカ」県民運動の展開
 - SDGs達成に向けた食文化の推進
- 「茶の都」づくり**
 - 国内外における「茶の都しずおか」の魅力発信
 - 静岡茶の愛飲の促進
- 「花の都」づくり**
 - 浜名湖花博20周年に合わせたイベント等、花に触れる機会の創出
 - 学校等における花育の推進



「パイ・シズオカ」県民運動の推進



「ガストロバーツーリズム」の推進
(例：茶や花の文化に触れるツーリズム)

(2) 美しく活力のある農村の創造

- 多様な主体の参画による農村コミュニティの再生・創造**
 - 美しく品格のある邑づくり活動の推進
 - 集落道、情報通信基盤等の生活環境の整備
 - 鳥獣被害対策の推進
- 農村地域の魅力を活用した交流促進**
 - 食・農が惹きつける「人の流れ」の拡大
 - マイクロツーリズムの推進による交流・関係人口の拡大
 - 滞在型グリーンツーリズムの推進
 - 地域資源を活用した取組の推進
 - 世界農業遺産を活かした地域活性化
- 農村地域の防災減災対策の推進**
 - 防災重点農業用ため池の防災・減災対策
 - 農地・農業施設を活用した流域治水の推進など



世界農業遺産を活用した交流促進



ため池等による防災減災対策の推進